

委員会派遣調査報告

議会運営委員会
 (宮城県登米市・
 岩手県奥州市)

○宮城県登米市では、「議会改革」について調査しました。

登米市議会では、議会改革推進会議を設置し、通年議会の導入、議員質疑や発言の内容を補完することができる議場内大型ディスプレイの設置、公募した議会に係る意見の聴取、委員間討議や決算審査を経て政策提言につなげるための事務事業評価を実施するなど、さまざまな議会改革を行っております。



登米市役所 (迫総合支所)

特に、通年議会については会期を通常とすることにより、常に議会が活動できる状態にあることから、災害などの突発的な事態にも

迅速かつ適切に対応できるとともに、常任委員会においても通年で所管事務調査を行うことが可能となるなど、メリットは多いとのことでした。

○岩手県奥州市では、「タブレット端末の運用状況」について調査しました。

議会へのタブレット端末の導入は、議会改革の一環として、資源の節約等のため、タブレット端末導入の可能性や課題・問題点について検討を重ね、市当局との調整を行い、平成29年9月定例会からタブレット端末を導入し、ペーパーレス議会を始めております。

タブレット端末の導入のメリットとしては、原則全ての会議をペーパーレス化することにより、使用する紙の大幅な削減につながる。とともに、委員会資料等についても全議員が閲覧可能となるなど、適時かつ迅速な情報共有が可能となったほか、議員活動における活用も期待できるとのことでした。

資源の有効利用や環境問題などを考えたとき、ペーパーレス化は大変有効であ

り、本市議会においても議会改革検討委員会での導入の検討を重ねていることから、実際に導入し活用している奥州市議会の状況は、大変参考となりました。

(派遣委員)

児玉政明 中山一男
 田村富男 倉岡 誠
 成田哲男 戸田芳孝
 (オブザーバー)
 宮野和秀 兎澤祐一

管内調査

《産業建設常任委員会》

11月20日に、8月15日からの大雨により舗装路面が約60メートルにわたり崩落した市道米代川堤防3号線の視察を行いました。

本件の被害は、河川護岸が被災したものであるが、その復旧方法は国の災害復旧事業により、河川管理者である県が行うものであるとの説明が行われ、10月の最終週に国の現地査定を受けており、国費の配当が決定し次第、入札事務手続きを進め、平成31年3月の発注を目指していると県より伺っているとの説明があり

ました。当該市道は、堤防機能を果たすとともに、市役所やかづの厚生病院方面への経路となっており、国道の混雑解消にも寄与している重要な道路であることから、可能な限り早期復旧が図られるよう要望してまいりました。



被災現地 (花輪字観音堂地内)

また、12月12日に、レタス栽培を主とする閉鎖型植物工場として本市へ進出した(株)バイテックファーム鹿角の視察を行いました。

閉鎖型植物工場は生産品に最適な環境を作り出し、安全な野菜の周年供給が可能であるとの説明がありました。当工場では12月3日に種まきが行われており、移植やトリミングなどの過程を経て、1月には出荷が可能となる予定とのことでした。多様な食品ニーズへ

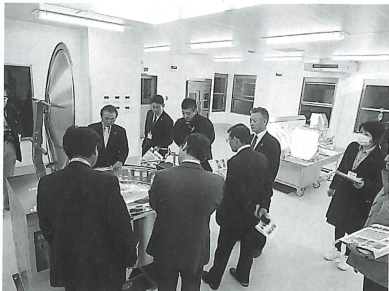
の対応や、新たな雇用創出がなされるものと、市議会としても大いに期待するものであります。



社員による工場の概要説明

《教育民生常任委員会》
 11月20日に、鹿角市学校給食センターの視察を行いました。

食材の検品や下処理をする場所と、調理・配膳の作業領域が区分されているなど、国の衛生管理基準に対応し、安全・安心な給食の提供が可能となります。



新しい調理器具の説明